

前年度の改善方策について実行した改善結果

学校関係者評価委員会からの提言を受け、昨年度末に改善策を策定した結果について記載する。

1 学習指導について

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて
<p>令和6年度も学習指導関連項目は高い肯定的評価となった。保護者「子どもが考えることや、課題を解決することを大切に授業を行っている。」は、「分からない」除くと、94%の肯定的評価となった。本校が重点としている「様々な事象と向き合い、課題解決を目指して情報収集や協働して学ぶ『キャリア教育』を通して、社会で生きるための資質・能力の素地と自信を培う。」を日々の授業で実践できている成果である。引き続き児童の「探究的な学び」が実現できるようにしていく。しかし、保護者の回答では「分からない」多いため、学校公開等での多数の参加をお願いしたり、指導方法等について保護者会などで丁寧に説明したりしていく。</p> <p>○各教科や特別活動を通して、児童が目的をもって活動すること、協働的に学ぶこと、振り返りをキーワードにした授業改善を行うことにより、「せたがや探究的な学び」の充実を図る。</p> <p>○学校公開の案内を丁寧に行う。</p> <p>○保護者会等で、実際の授業場面の写真等を用いて、</p>	<p>5・6年児童「学ぶことが楽しい」 R6 85.7%⇒R7 76.8%と評価が8.9ポイント下がってしまった。</p> <p>保護者「子どもたちは、意欲的に学習に取り組んでいる」 R6 82.1%⇒R7 86.0%と向上した。保護者アンケートは全校実施のため、高学年における意欲の向上、せたがや探究的な学びの更なる充実を図っていく必要があると考える。保護者の「分からない」の回答は減少した。</p> <p>⇒校内研究、OJT 研修、授業観察等で教師の指導力を向上させていく。</p> <p>⇒特別活動に関しては、令和8年度の開校70周年に向けての取組を充実させる。その中で、子どもたちの発意・発想を活かし、探究的に協働的に取り組めるようにしていく。</p> <p>⇒年3回の学校公開、HP、学級便り、保護者会等で、どんな取組をしているかの情報発信を更にしていく。</p>

2 学校行事(運動会・展覧会・宿泊行事など)等について

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて
<p>児童が主体的に取り組む特別活動が充実できるように取り組んでいく。働き方改革の視点も考えた取組、カリキュラムの構成を検討していく。</p> <p>○委員長会議を中心とした取組を活用し、児童の意見や考えが反映される児童の主体的な取組となるようにしていく。</p> <p>○取組の精選、効率化を検討することにより、働き方改革を推進する。</p>	<p>児童の学校行事の3項目は85%以上と肯定的な評価が高いが、昨年度より数%低くなった。</p> <p>保護者は3項目ともに昨年より改善し、95%を越えた。</p> <p>○委員長会議を中心とした組織の運営により、「とど活ハッピープロジェクト」が実施できた。「鉄道クイズ」「お笑いライブ」「キャラクタークイズ」「だるまさんが転んだ大会」等、子どもたちの発意・発想を活かした、主体的に取り組める活動実績をつくることのできた。</p> <p>⇒高学年がリードし、だれでも取り組める活動が実施できるように支えていく。</p> <p>○行事等を運営することが多い高学年の担任のうち、年次の浅い教員在校時間が多い状況が続いてしまった。職員によるアンケート結果でも、「ライフ・ワーク・バランスを整えられるような環境が整えられている」という項目で21%の職員が否定的な回答となった。</p> <p>⇒業務の効率化と均等化を図る。</p> <p>⇒児童の負担感の軽減、働き方改革の観点も考慮して、令和8年度は、「異学年スポーツ交流会」を休止し、70周年記</p>

念行事(仮称:児童祭り)等を実施する時数にあてて。

3 先生について

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて
<p>引き続き、児童の人権を尊重し、丁寧な指導を心がけていく。</p> <p>○全員「さん」付けでの呼称の徹底</p> <p>○頭ごなしに注意や指導をするのではなく、「どうしたの?」から声をかけるなど、丁寧な指導を行う。</p>	<p>児童「先生たちは、丁寧な指導をしてくれる」 R6 94.7%⇒R7 91.9%</p> <p>児童「私は、先生たちに相談できる」 R6 81.7%⇒R7 82.8%</p> <p>保護者「本校は丁寧に指導している」 R6 86.1%⇒R7 90.1%</p> <p>保護者「本校は子どものことを相談しやすい」 R6 78.1%⇒R7 85.4% であった。 ⇒比較的に高い数値であるが、否定的な意見に対してのケアを課題として取り組んでいく。</p>

4 キャリア教育について

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて
<p>将来の職業像を想像しやすくするための職業講話等の実施を行うと共に、引き続き、身近な上級生に憧れの気持ちをもつことも「キャリア教育」と捉え交流の場を、カリキュラムマネジメントを行い多く設定する。</p> <p>○特別活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中の交流会、他学年との交流会の実施、兄弟学年での取組の実施 ・キッズ班活動や委員会活動の充実 <p>○学習場面での異学年交流</p> <p>例)川場移動教室について5年生が4年生に発表等</p> <p>○「なりたい自分になる」のキーワード化</p>	<p>5・6年生で保護者による職業講話のミニ授業を実施したことにより、</p> <p>児童「自分の生き方や将来のことについて考える授業がある。」 R6 64.7%⇒R7 77.3%</p> <p>保護者「本校は子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。」 R6 50.7%⇒R7 61.6%と改善傾向にある。</p> <p>児童「私はなりたい自分をめざして努力している」 R7 82.8%と肯定的な評価が80%を越えた。 ⇒今年度の実績をもとに、令和8年度も交流活動や保護者の協力によるキャリア教育を実施していく。</p>

5 あいさつについて

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて
<p>あいさつに関する取組に関しては、まずは大人の意識向上が大切である。教職員の率先垂範と共に、保護者にも働きかけていく。また、あいさつ運動推進会議との連携を図っていく。</p> <p>○あいさつキャンペーンの充実</p> <p>○「あいさつ・返事・お礼の言葉」の定着</p> <p>○教職員による率先垂範</p> <p>○委員長会議(委員会議)によるあいさつの輪を広げる運動</p> <p>○OPTA、おやじの会、保護者への協力依頼</p>	<p>児童「あいさつをすすんでしている」 R6 82.1%⇒R7 81.9%とほぼ横ばい。</p> <p>保護者「子どもたちは進んで挨拶をしている」 R6 64.8%⇒R7 71.7%と改善傾向である。</p> <p>挨拶キャンペーンについては、あいさつ運動推進会議の協力も得て、地域の方も仮装するなど、子どもたちが楽しくなる工夫をしていただけた。 ⇒学校だけではなく、保護者、地域の皆様と共に、町全体の挨拶の輪が広がるようにしていく。</p>

6 学校の安全性について

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて
<p>引き続き施設の改修と共に、児童自ら判断して安全に行動できるように働きかけていく。</p> <p>○安全点検の実施 施設改修の要望</p> <p>○けがの多い休み時間の看護当番の徹底</p> <p>○「判断力」のキーワード化</p> <p>○登下校時の通学路の安全指導の徹底</p>	<p>○『判断・相談・挑戦』の合い言葉を提示し、自ら判断して行動できるよう取り組んだ。1月末時点での、救急搬送をする重大事故は防げている。施設面での改修も行っていった。保護者の「学校の安全性」についての2項目で90%を越える肯定的評価になった。 ⇒全校朝会や日々の学級指導での意識を高める指導看護当番等による職員の看護を徹底する。</p>

	経営方針『子どもがいるところには必ず大人がいる。大人がいないところには、子どもはいない。』を厳守する。 ⇒いじめや不登校等、児童の変化を見逃さず、情報共有し、適切な対応をしていく。
--	---

7 質問に対する回答選択について

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて
学校での様子が伝わるようにする努力と学校参観への周知を徹底する。 ○学校だよりや学校ホームページ等の充実 ○学校公開、学校行事のご案内を丁寧に行う。	学校からの情報提供の2項目では、90%以上の高い評価であった。地域の方も「学校からのお知らせやHPなどにより、学校の様子が分かる」92.3%と肯定的評価が高い。

8 保護者会に対して、「保護者が毎回、しっかり出席するべきである。」の視点について

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて
保護者が参加したくなるような保護者会になるように検討していく。 ○レジュメを読む等だけではなく、児童のエピソードを含め、保護者が来校して直接話を聞いて良かったと思えるような保護者会をめざす。 ○保護者同士の懇談が充実できるようにしていく。	保護者「本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子がよく分かる。」「私は、学校公開にすすんで参加している」「私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している」等の項目で評価が向上した。

9 図書する意識が低下したことについて

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて
学級増が続いている状況であり、図書室の再設置は厳しい状況であるが、読書活動が充実するように検討を続けていく。 ○図書委員会の読書運動の充実 ○図書の時間、読書タイムの充実 ○図書司書との連携 ○とどろき絵本の国との連携 ○絵本のコラボ給食の継続	左記の項目は全て充実させたが、児童「本が好きまたは、本を読むのが楽しい」では、 R6 67.0%⇒R7 61.7%と評価が下がってしまった。 タブレットの使用により、アナログの本を読む機会が減少したり、興味を引きやすいものであったりするため、読書場慣れが課題となった。 ⇒読書時間の確保と共に、家庭の協力も得られるようにしていく。

10 保護者アンケート回収率について

令和7年度の改善策	改善結果⇒次年度へ向けて⇒
引き続きアンケートへの回答をお願いしていく。 ○すぐーる配信 ○紙面による回答票の回収	左記の取組により、回収率が R6 88.8%⇒R7 91.2%と向上した。